

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	日本史探究	単位数	4単位	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース（文系）
使用教科書	日本史探究（東京書籍）		副教材等	新詳日本史（浜島書店）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察・構想・説明したりする力やそれらを基に議論したりする力を養う。 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、文化の特色などを多面的・多角的に考察し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	第3編第3章2節 「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」	幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 近世の国家・社会の変容について、歴史の画期など根拠を示して表現できる。 内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 	定期考査 授業態度 課題 小テスト ノート・プリント
				○			
					○		
5	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	○			<ul style="list-style-type: none"> 対外関係の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などをもとに、近世から近代への時代の転換を理解している。 近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現できる。 近現代の地域・日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追求しようとしている。 	
				○			
					○		
6	第3章 近現代社会の展開 1節 「近現代的制度の導入と新しい国際関係」	近代から現代にいたる国家・社会の展開について、根拠を示して表現する学習を通じて、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。 近代の政治の展開について多面的・多角的に考察できる。 内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 	
				○			
					○		
7 8	2節 「国民国家と資本主義の成立」	立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。 近代の政治の展開と国際的地位の確立について、根拠を示して表現できる。 内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 	
				○			
					○		
9	3節 「両大戦間期の日本」	近代から現代にいたる国家・社会の展開について多面的・多角的に考察し、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解している。 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できる。 内容に対して、自身の学習について振り返り、調整しようとしている。 	
				○			
					○		

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
10	4節 「第二次世界大戦と日本」 5節 「占領と改革」	・第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			・第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。	授業態度 課題 小テスト ノート・プリント
				○		・第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、多面的・多角的に考察できる。	
					○	・内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	
11	6節 「国際社会への復帰と高度経済成長」 7節 「アジア情勢の変化と経済大国日本」	・近代から現代にいたる国家・社会の展開について、我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			・我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解している。	
				○		・戦後政治の展開、日本経済の発展について、歴史の画期などを根拠を明示して表現できる。	
					○	・内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	
12	8節 「新しい国際秩序と日本の課題」	・近代から現代にいたる国家・社会の展開について、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			・現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。	
				○		・国民の生活や地域社会の変化などに着目して、歴史の画期などを根拠を示して表現できる。	
					○	・内容に対して、自身の学習について振り返り、調整しようとしている。	
1	第4章 現代の日本の課題の探究	・これまでの学習をふまえ、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	○			・先史・古代、中世、近世、近現代の学習をふまえて、現代の日本の課題を理解している。	授業態度 ノート・プリント
				○		・現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察・構想して表現できる。	
					○	・自身との関わりをふまえて、持続可能な社会の実現を視野に、主体的に探求しようとしている。	